

## 令和4年11月 定例教育委員会会議録

開 催 日	令和4年11月22日(火)
開 催 場 所	半田市役所 庁議室
出席委員	教 育 長 鈴 川 慶 光      委 員 桂 優 子 委 員 新 美 大              委 員 久 米 宏 和 委 員 正 村 日 登 美      委 員 堀 崎 隆 資
説明のため 出席した職員	教 育 部 長 岩 橋 平 武      学 校 教 育 課 長 森 田 知 幸 主任指導主事 鈴木康弘      指 導 主 事 高 下 隆 史 給食センター所長 前田成久      生涯学習課長 青木美希 スポーツ課長 加藤計志      スポーツ課主幹 長坂壮浩 図書館長 山下由美      博物館長 関 正 樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事 務 局	学校教育課総務担当副主幹 渡辺 富之
議 案	(1) 令和4年度半田市一般会計補正予算について
報 告 事 項	(1) 寄附、後援願について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 第75回半田市美術展開催結果について (4) 上池公民館職員の異動について (5) 半田市制85周年記念はんだシティマラソン2022の結果について (6) 半田市立図書館及び半田市立亀崎図書館の休館について (7) 新美南吉感想画コンクール審査結果について (8) 「本の福袋」について (9) 新美南吉記念館展示リニューアル及び生誕110年開幕祭について (10) 新美南吉生誕110年PRサポーターの募集について (11) 各種事業について ①半田市民管弦楽団第36回定期演奏会について ②合格祈願栞について
各課事務連絡	小栗家住宅の半田市文化財カードについて

〈 開会 10時00分 〉

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 10月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長)</p> <p>新型コロナが落ち着いてきて、学校や地域のイベントが配慮をしながら開催されるようになった。</p> <p>各学校の文化祭・運動会や地区の文化展、産業まつり等が開催されるようになり、人の動きが活発になってきた印象を受けている。</p> <p>人が動けば様々なことが起こる可能性があり、先日の二ツ坂カーニバルでは、大勢の子どもたちが出かけていて、今まで我慢してきたストレスが発散できる機会だとは思いつつも、心配な面もあり見ていたが、さまざまなところで人と人が触れ合うことは大切だと感じた。</p> <p>赤レンガ建物見学視察では、今年度から市内13校の小学校が、半田市内の博物館、新美南吉記念館、赤レンガ建物を訪問し、それぞれの施設で説明を受けながら、半田市の良さを改めて知る機会を設けている。</p> <p>そのような取り組みを通じて、地域を知ることや学習をするきっかけづくりになり、中学生になっても関心を持ち、行動をしてもらえると良いと思っている。</p> <p>今年度の学校訪問がすべて終了した。市長、副市長、幹部職員、議員等に足を運んでいただき、学校以外の職員に来てもらうことは非常に意義深いことだと感じた。</p> <p>学校の実態を見てもらえたことは、とてもありがたく、今後もたくさんの人に学校を見てもらい意見をいただきたい。</p> <p>11月11日 岡崎市の愛知教育大学附属特別支援学校において、特別支援教育研究協議会があり、授業公開研究発表会に参加した。</p> <p>ここは、県内から地区代表の先生方が、特別支援のことを学び、各地区に戻って、特別支援教育を広めていくような役割も果たすところでもあり、昨年度から、亀崎中学校にいた教員が勤務しており、激励を兼ねて参加したがとても頑張っていた。</p> <p>ここでは、先生方が子どもたちを褒めてやる気を引き出し、一緒に喜びを共有して、とても楽しそうだった。作業等を通して、子どもたちの成長を支えている感じを受けた。</p> <p>また、指導教員同士が指導や研究し合いながら、身につけていくのだと感じた。</p> <p>特別支援学校と特別支援学級とは多少異なるところがあるが、実際に見学に行くと、経験をしながら自分の指導を振り返ることは大切だと感じた。</p> <p>11月17日 乙川小学校150周年記念式典では、式典と学習発表会があり、子どもたちが乙川地区をより知ろうということで、各学年で調べたり、実際に足を運んだり、人と接したりしながら取り組みをしていた。</p> <p>6年生は、市内の和菓子屋とコラボして新しい商品の開発をしたが、地域とつながり、子どもたちが様々な取り組みをしていくことはとても大切で、いろんな学校でそのようなことが今後も引き続きできたらと思う。</p> <p>他県で教員の子どもに対する不適切な対応についてニュースになっていたが、半田市でも機会があるたびに各学校に指導していきたい。</p>

<p>3. 議題 議案 1) 令和4年度 半田市一般会計 補正予算につい て</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>小学校管理運営事業の2,552万円と中学校管理運営事業の1,046万9千円、幼稚園管理運営事業の264万8千円は、いずれも光熱水費や燃料費などの高騰に対応するため不足額を補正するもの。</p> <p>学校教育指導事業の159万9千円の増額は、次年度から導入する新制服に関するもの50万円と修学旅行のキャンセル料に関するもの109万9千円の合計。</p> <p>新制服について、経済的に就学が困難な生徒は、新中学校1年生になる際に、生活保護費や準要保護扶助費により新入学用品費が支給され、学生服の購入費が支援されるが、DV関係や入学直後の転入など特別な事情により購入費が支援されない場合がある。これまでそうした場合には、学用品バンクや学校が保管している制服で対応していたが、今回は制服の変更に伴い貸出用の新制服を購入するもの。</p> <p>修学旅行のキャンセル料については、コロナの影響で行程を変更したことにより取消料や当日欠席によるキャンセル料について補助するもの。</p> <p>学校生活支援事業の94万3千円については、今年度10月から最低賃金の引き上げに伴う単価上昇など、人件費について補正するもの。</p> <p>小学校教育振興事業31万3千円の増額は、JFEスチールオープンゴルフ大会様から理科教材充実のためとしていただいた寄附金を財源に、7小学校で理科物品を購入するもの。</p> <p>歳入について、小学校教育振興費寄附金31万3千円の増額は、先ほど歳出で説明した小学校の理科備品の整備に関するもので、JFEオープンゴルフ大会様からの寄附金。</p> <p>学校教育指導事業充当についても、先ほど歳出で説明した貸出用新制服の購入費を教育基金から繰り入れるもの。</p> <p>(給食センター所長)</p> <p>9款教育費 6項保健体育費 3目学校給食費、2 大事業、学校給食管理運営費の3中事業「学校給食センター管理運営事業」の373万8千円は、燃料価格の高騰等により、光熱水費が当初予算額を超える見込みとなっているため、年度末までに見込まれる光熱水費の不足額を補正予算に計上する。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>9款5項2目公民館費831万3千円、5目空の科学館、体育館費504万7千円、6目福祉文化会館費853万9千円、8目乙川交流センターニコパル費700万円については、いずれも光熱費の高騰により、年間の支払い予定額が当初予算額の見込みを上回るため、不足額を補正する。</p> <p>なお、空の科学館、体育館費については、指定管理者に補助金（施設指定管理事業補助金）として交付する。</p>
--	--

(スポーツ課長)

9 款 6 項 2 目社会体育費、補正額 644 万 3 千円の総合型地域スポーツクラブハウスを始めとするスポーツ課所管施設 6 施設について、いずれも光熱費の高騰により、年間の支払い予定額が当初予算額の見込みを上回るため、不足額を補正する。

なお、総合型地域スポーツクラブハウス、青山記念武道館、半田福祉ふれあいプールについては、指定管理者に補助金（施設指定管理事業補助金）として交付する。

(博物館長)

歳入、2 款・1 項・5 目「財産管理費」中、「基金積立金」14 万 1 千円については、令和 4 年 7 月 16 日から 10 月 15 日までに入金された「ふるさと納税」であり、活用希望先である「文化財の保存継承に関する事業」に将来充当するため、「文化財保存継承基金積立金」に積立し保管する。

9 款・5 項・3 目「図書館、博物館費」中、「図書館、博物館管理運営事業」の 6 百 92 万 2 千円については、不足する光熱水費の増額分になる。

他の施設同様、電気料金、ガス料金が当初の見込みから大きく増加しており、年度末までに不足が予測される分について増額する。

歳入について、18 款・1 項・1 目「総務費寄附金」の 14 万 1 千円は、先ほど歳出で説明した基金積立金の原資を文化財保存継承基金寄附金として収入するもの。

(南吉記念館長)

2 款・1 項・5 目「財産管理費」の「基金積立金」36 万 2 千円につきましては、7 月 16 日から 10 月 15 日までに入金された「ふるさと納税」であり、活用希望先である「新美南吉の文学を顕彰する事業」に将来充当するため、新美南吉文学顕彰基金に積立し保管するもの。

9 款・5 項・7 目「新美南吉記念館費」中、「新美南吉記念館施設管理事業」の 252 万 3 千円については、光熱水費の増額分によるもの。

燃料費等の増加に伴い、電気料金が当初の見込みから大きく増加しており、年度末までに不足が予測される分について増額する。

歳入について、18 款・1 項・1 目「総務費寄附金」の 36 万 2 千円は、歳出で説明した基金積立金の原資を「新美南吉文学顕彰基金寄附金」として収入する。

(久米委員)

制服の貸与について、今年度は補正予算措置としているが、令和 5 年度の予算措置は当初より予算を組み込む方針か。

(学校教育課長)

令和 5 年度は当初予算にて計上を見込んでおり、今回の補正と同様に財源の一部に基金を充てる内容で財政当局と交渉していく予定。購入枚数などは令和 4 年度の動向を見極める中で決定したい。

<p>報告事項 1) 寄附、後援願について</p>	<p>(学校教育課長) ・48団体より寄附。 (内訳：雑巾、簡易テント、現金) ・18件の後援名義を許可。</p>
<p>2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p>	<p>(指導主事) 令和4年9月17日～10月20日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：3件 9月24日(土) 1件 9月29日(木) 1件 10月17日(月) 1件 問題行動(被害)等：4件 9月19日(木) 1件 10月3日(月) 1件 10月18日(火) 1件 10月19日(水) 1件 交通事故以外の事故：2件 9月27日(火) 1件 9月28日(水) 1件 学校等被害：なし 不審者情報：1件 10月14日(金) 1件</p>
<p>3) 第75回半田市美術展開催結果について</p>	<p>(生涯学習課長) 10月28日から30日まで開催した「第75回半田市美術展開催結果」について報告する。今年度の出品数は6部門合計で293点。入場者数は3日間で延べ3,110人で(R3:1,314人)、近年において最高値となった。(うちアールブリュット展：800人) 受賞者の詳細については、別冊で添付してある目録のとおりである。昨年度から実施している字てがみ体験会やロビーコンサート、また併催したアールブリュット展でのワークショップも非常に好評で、多くの方々にご参加いただいた。来年度は、山車祭りが開催されるため、時期を12月にずらしての開催となるが、今後も幅広い方々に出品、来場いただけるような取り組みを行い、市民の皆さんの文化芸術への関心を高めていきたい。</p>
<p>4) 上池公民館職員の異動について</p>	<p>(生涯学習課長) 上池公民館主事のうち1名が、自己都合により10月末をもって退任された。後任として、11月1日付で竹内千夏氏を選任し委嘱したので報告する。</p>
<p>5) 半田市制85周年記念はんだシティマラソン2022の結果につ</p>	<p>(スポーツ課長) 11月6日、半田運動公園にて、半田市制85周年記念はんだシティマラソンを3年ぶりに開催した。 7つの部門のマラソン、ウォーキングも含めて、参加実人数573名の方が参加。</p>

いて	<p>今年は、With コロナの開催で、従来の市街地を走るコースから、運動公園の中を周回するコースで開催した。今年はやむを得ない開催方法だと認識しているが、来年以降については従来の形で開催予定であり、実行委員会の中で検討を進めている。</p>
6) 半田市立図書館及び半田市立亀崎図書館の休館について	<p>(図書館長)</p> <p>令和5年2月1日(水)から2月8日(水)までの8日間、半田市図書館条例施行規則第3条第1項第2号に規定する特別整理期間として、本館及び亀崎分館を休館する。</p> <p>この期間の対応として、返却期限の延長、会議室利用の時間制限等を行う。</p> <p>また、利用者には、市報・ホームページ・twitter・館内掲示・チラシ等により周知。なお、休館中は各館で「蔵書整理」を行う。</p>
7) 新美南吉感想画コンクール審査結果について	<p>(図書館長)</p> <p>新美南吉生誕100年を記念して開始した事業で、今年で9回目となる。南吉作品の楽しさ、すばらしさに親しむ機会を増やし、感想を絵にすることにより表現力を養っていただくことを目的として、市内小中学校全学年を対象に実施している。</p> <p>今年度の応募総数は、1,249点(昨年1,528点、一昨年中止)。</p> <p>9月29日に審査会を開催し、厳正な審査により、半田市長賞はじめ35点の入賞作品を選定した。</p> <p>12月4日(日)午前11時から、半田市立図書館において上位4賞及び優秀賞について表彰式を行う予定。</p> <p>審査結果は、市報12月号及びホームページで公表する。</p> <p>なお、入賞作品は、12月4日(日)～12月25日(日)まで図書館本館、令和5年1月4日(水)～2月5日(日)まで新美南吉記念館で展示する。</p>
8) 「本の福袋」について	<p>(図書館長)</p> <p>12月17日(土)～28日(水)まで、図書館本館・亀崎図書館で「本の福袋」を貸し出しする。テーマや対象年齢に合わせて図書館職員が選んだ本を袋詰めし、袋に入ったままの状態の本を貸し出す。どんな本が入っているかは、開けてからの楽しみ。普段は手に取らないような本との出会いを楽しんでもらえたらと思う。</p> <p>本館はこども用10袋、大人用3袋の1日13袋、亀崎はこども用8袋、大人用2袋の1日10袋で、先着順である。</p>
9) 新美南吉記念館展示リニューアル及び生誕110年開幕祭について	<p>(南吉記念館長)</p> <p>現在、新美南吉記念館は、令和5年の新美南吉生誕110年に向けて、臨時休館の上、常設展示のリニューアル工事を行っている。内容は開館以来ほとんど変わっていなかった常設展示パネルの一新と、「ごんぎつね」コーナーの充実、ストップモーションアニメごんの特別上映。「ごん」の上映は令和6年3月までの期間限定で、毎時0分から展示室内のビデオシアターで上映する。</p>

	<p>工事は年内に終了し、1月4日からリニューアルオープンする。</p> <p>これに合わせ、企画展「ストップモーションアニメーションごんの世界 2023」を開催する。「ごん」の撮影に使われた人形や小道具などを一堂に展示する展示会で、4月9日までの会期。映像を鑑賞し、制作の舞台裏がわかる企画展を見て、ごんの世界に浸ることができる。</p> <p>また、1月4日は、新美南吉の生誕110年が始まるということで、生誕110年開幕祭と銘打ってイベントを行う。</p> <p>正月らしく、けん玉やコマなどで遊ぶコーナー、詩の朗読や板山万歳、酒樽の鏡割りによる開幕式典、中埜酒造様の協力による甘酒のふるまいなどを行う。</p> <p>また展示リニューアルと並行して、南吉生家の外壁改修も現在進めている。こちらも年内で終了するため、1月4日から15日まで記念館だけでなく生家へも行ってもらって、来年の干支ウサギを描いた南吉の絵を探して、そこに書かれた言葉を南吉記念館の窓口で伝えると記念の缶バッジがもらえるという企画を行う。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>以前、会館職員に尋ねたこともあるが、記念館の外壁を修繕するのであれば、プロジェクトマッピングをやってみてはどうか。市外の施設等で誘客が図られている例もあるので、南吉記念館をPRするため検討できないか。</p> <p>(南吉記念館長)</p> <p>プロジェクトマッピングの対象施設として、生家については、道路に近い位置に設置していることから実施は困難と見込んでいる。</p> <p>また、記念館には白い大きな壁面があり可能性としては否定するものではないが、構造上、施設の半分が地下構造となっていることから、多くの来場者が見上げられる施設ではない側面もある。今後の検討事項としたい。</p>
<p>10) 新美南吉生誕110年PRサポーターの募集について</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>生誕110年PRポスターもできあがり、広報活動を加速させるために、南吉顕彰を応援して下さる企業、団体、個人の皆様のお力を借りたい。具体的にはポスターを人目につきやすい場所に貼っていただいたり、会社のHPに生誕110年のバナーを掲載して生誕110年のHPにリンクを張っていただいたり、随時記念館から提供する事業の情報や宣伝用画像をSNSなどで発信していただきたい。</p> <p>全部はできなくて、ポスターを貼るだけでもお願いしたい。</p> <p>QRコードから入れる登録フォームでサポーター登録していただければ、HPにサポーターとして企業名を掲載させていただく。</p> <p>半田ライオンズクラブの例会でも会員企業の皆様にポスターを配布させていただいた。委員の皆様もぜひ登録と周知にご協力いただきたい。</p>

<p>11) 各種事業について</p> <p>①半田市民管弦楽団第36回定期演奏会について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>半田市民管弦楽団第36回定期演奏会について、先日、中日新聞にも掲載されたが、3年ぶりとなる定期演奏会は、市制85周年記念事業として開催される。</p> <p>ゲストとして、沢田蒼梧さんが出演。沢田蒼梧さんについては、2021年ショパン国際ピアノコンクールに出場され、世界から注目されているピアニストで、現役医大生であり、ピアニストとの二足の草鞋を履く二刀流として活躍されている。</p> <p>ショパンコンクール以降、全国でさまざまなリサイタルを開いているが、公演チケットは全て完売する人気である。</p>
<p>②合格祈願葉について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>今年も、恒例となった滑らない砂の葉の配布が、C11 265 蒸気機関車保存会により行われる。12月18日(日)10時から、200枚限定で、なくなり次第終了となる。</p>
<p>各課事務連絡</p> <p>小栗家住宅の半田市文化財カードについて</p>	<p>(博物館長)</p> <p>令和4年7月に当委員会で製作準備をすすめている旨の連絡をさせていただいていた、小栗家住宅(令和4年9月20日に新たに国の重要文化財に指定)の半田市文化財カードが完成したので、皆様にもお渡しさせていただく。</p> <p>一般の方への配布は、博物館受付にて令和4年12月から開始する予定。</p>
<p>半田市の幸せ教育(案)について</p>	<p>(鈴木主任指導主事)</p> <p>前回の定例教育委員会において、幸せになるための教育を実現する会議から市長への提言書を提示して教育委員会として、今後はこの提言に沿った取組を進めていくことを確認した。</p> <p>今回提案するものは、来年度から具体的に取り組んでいくためのたたき台である。</p> <p>説明後、委員の皆様から意見をいただきながら修正をしていきたいと考えているが、最終的には校長会へも提示をし、実現に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>また、幸せになるための教育を実現する会議でも、方向性を報告する予定。</p> <p>市長からの提言は1～3のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 半田市において「幸せになるための教育」を考えて実現していくこと</li> <li>2. 「幸せになるための教育」を実現していくやり方は、各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていくこと</li> <li>3. 教育現場で「幸せになるための教育」を実施しやすい環境整備に努めること</li> </ol> <p>3つ目の、教育現場で幸せになるための教育を実現しやすい環境整備に努めることについては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員が子供たちと向き合える時間を増やす</li> <li>②教職員の心の余裕やゆとりを生み出す</li> <li>③教職員の力量の向上を目指す</li> </ol>

これらを実践し蓄積していくことで教職員の幸せに結びつくものとなり、子どもたちへの幸せへとつながっていくものと整理した。

具体的な方策としては、1～7のとおり。

1. 教育目標との関わり、教育目標への位置づけとして、幸せというキーワードを令和5年度半田市幼稚園学校教育重点目標（案）に位置づけ、可視化したいと考えている。
2. 実践事例の蓄積として、板書の写真データ（一人1実践）や指導案（任意）を蓄積し、誰もが閲覧できる環境を整備する。
3. 強化週間・月間として、市制記念日（10月1日）を中心に、例として半田ハッピーウィーク（仮称）などを設ける
4. 小学校教科担任制の推進として、市費による専科教員を配置し、子どもたちと向き合う時間を増やしていきたい。
5. 中学校部活動の地域移行として、土日の中学校部活動を中止し地域に移行することで教職員の心の余裕などを創出したい。
6. 研修の充実として、夏季休業中の研修を充実させ、教職員の力量向上を図りたい。
7. 教育環境整備として、特別教室へのエアコン設置でハード面の環境整備を図りたい。

（桂委員）

実践事例の蓄積について、各校の先生が、他校で実践している内容などを自由に閲覧できるということか。

（鈴木主任指導主事）

誰がどのようなことを実施しているかを参考にできるように、全教職員が利用できるクラウドドライブで簡単に閲覧することが可能で、このことで他の事例を参考にしながら、ブラッシュアップして欲しいと考えている。

実践事例をレポート等で提出を求めることは事務負担を増やしてしまうことから、蓄積データは板書を基本としたい。板書が閲覧データになることで、教職員の板書する力を養いたい狙いもある。

（桂委員）

幸せをテーマに子どもたちが話し合い、いろいろな意見が出るような取組みが望ましいと思うが、子どもたちの意見等が板書でどこまでまとめられるものか。

板書にまとめきれなかったことはコメントを入れるなど必要ではないか。

（鈴木主任指導主事）

板書については、子どもたちの意見等を整理しながらまとめていくものであるが、音声資料等も載せることもデータ容量や技術的な問題も含めて検討したい。

	<p>(新美委員) 半田ハッピーウィーク(仮称)について、子どもたちにも名称の募集をしてはどうか。子どもたちも幸せ教育の動機付けや興味が湧いて取り組む意識が出てくるのでは。</p> <p>(教育長) 参考にさせていただく。</p> <p>(堀崎委員) 人間的にも金銭的にもハードルは高いことは承知しているが、教科指導員として高いスキルを持った教員が各校に出向き、その指導員によるアドバイス等を行うことも、現在の教員の心のゆとりを創出するためには必要なことと感じている。</p> <p>(桂委員) 今回の環境整備の取り組みについて、現場の先生の意見等を反映するためにアンケート調査など用いることや、取り組みによって先生方のストレスが軽減されたことなどを可視化する工夫なども必要ではないか。</p> <p>(鈴木主任指導主事) 今回の取り組みは幸せになるための教育を実現する会議が先に行ったアンケート結果より検証したもので、今後、新たにアンケートを集約することは考えていないが、各校が行っている学校評価などから教職員や学校の意向などを確認するなど既存のデータを有効活用したい。また、取り組みによる成果や進捗状況の可視化については検討していきたい。</p> <p>(教育長) 本日意見をいただいた内容を精査し、12月の定例教育員会で再度協議いただく。 12月の定例教育員会で委員の皆様からいただいた意見を基に、1月の校長会、2月の幸せ会議で報告する予定である。具体的な取り組みは来年度からのスタートに向けて進めていきたいと考えているので、問い合わせ等は会議の機会に限らず密に連携していきたい。</p>
委員からの意見 提言等	<p>(正村委員) 中学校の制服の変更にともない、不安を抱いているお母さんから相談を受けた。 不安を感じる要因として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①購入できる店舗が1店舗のみと聞いている</li> <li>②購入時期は12月であるが、学校の説明会が1月以降である</li> <li>③制服以外の内容(シャツの素材や枚数)が定かでない</li> </ul>

(鈴木主任指導主事)

12 月中の説明会の開催が困難であったため、各学校へ 11 月または 12 月に制服変更に伴う通知をするよう依頼し、保護者の不安解消を図っている。通知内容には購入できる店舗の紹介や、制服の変更に伴い校則（靴の色指定等）の見直しをしている学校は同様に案内している。

シャツの購入枚数については、個人差が生じるものなので各家庭で検討していただくことになる。

(久米委員)

児童生徒が一斉に制服を発注することで、入学式に間に合わない事態になり得ないか。

(学校教育課長)

全国的に制服の見直しを行っている傾向もあり、1 つの製造メーカーしか作ることができないと、委員の指摘する事態も考えられるが、現在 4 ～ 5 社のメーカー参入を見込んでいる。

(新美委員)

中学校の部活動の地域移行について、現在の進捗状況はどのようなものか。

(教育部長)

市議会の動きとしては、12 月定例議会において、文教厚生委員会より提言が出される予定。

教育委員会としては、

- ①令和 7 年度より土日の中学校の部活動は廃止
- ②土日の生徒の受け皿は地域のスポーツクラブが主体となる
- ③土日は部活動とは別の「クラブ活動」とする
- ④月～金曜日はこれまでどおり部活動とする

これらの方針を柱に、現在、教育委員会では、各スポーツクラブとの話し合いを進めている。

指導員の確保や、受け入れられる種目など各スポーツクラブで生じている格差を埋めるための必要な支援等について予算化を目指している。

(新美委員)

ある地域の方から、数年前から部活動の地域移行の際には地域のスポーツクラブが主体となっていくと聞いているが、半田市から具体的な話がないという意見を聞いた。方針等が定まっているのであれば「何もしていない」「やる気がない」などと誤解を与えないためにも、是非とも取り組みを P R してもらいたい。

	<p>(教育部長)</p> <p>土日の部活動の地域移行に対し、各スポーツクラブは使命感を持ってご理解いただいていることは把握している。</p> <p>各スポーツクラブの熱意にお応えできるよう、具体的な提案等の準備を進めているが、財源と人員に関する方針については今しばらく時間が必要である。</p> <p>半田市には各中学校区にスポーツクラブという社会資源があり、尚且つ、各スポーツクラブが地域移行に理解してくださっている。こうした他市にはない強みを最大限に活かして令和7年度の実現に向けて進めていくとともに情報発信していく。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>12月定例教育委員会 日時：12月21日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室402</p> <p>1月定例教育委員会 日時：1月25日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室303</p> <p>(教育長)</p> <p>10月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時00分 〉